



### 冬休みは、指先を使う活動で巧緻性UP！

校長 長谷川 美栄子

「手先の器用な子は、学力が高い」ということを聞いたことがありますか。

手指の器用さをことを巧緻性（こうちせい）と言います。小学生を対象とした手指の巧緻性に関する調査では、手指の巧緻性は、手指を使う学習・繰り返しを要する学習への好き・嫌いに影響し、種々の学習への取組と関連することが明らかになっています。手先の器用な子は、鉛筆で字を書くことを面倒とは感じないため、漢字の練習や計算問題等、繰り返し練習して覚える学習に抵抗なく取り組むことができるということです。

さらに、手先の器用さは、集中力を身に付けることにも関連しています。どんなに器用な人でも、やったことがないことを、最初から上手にできるわけではありません。何かに初めて取り組む場合、手先の器用さは関係なく、スタートラインはみんな同じです。しかし、スタートしてみると、手先の器用な人は、コツをつかめばできるようになっていきます。それに対し、不器用な人は、上手くいかないことで意欲が低下し長く続きません。そのため、手先の器用な人より集中する時間が短くなります。集中する時間の差が積み重なることで、結果的に、手先の器用な人の方が、集中力が身に付くということになります。

手指の巧緻性は、練習によって鍛えることができます。よく知られているのは、「指回し体操」（詳細は検索してください）ですが、指先を使う遊びや手芸、ペーパークラフト等も効果的だと言われています。また、調理したり洗濯物をたたんだりといった家でのお手伝いもよいそうです。

さて、明日から20日間の冬休みに入ります。家に閉じこもりがちな冬休み、折り紙やビーズづくりといった遊びをしたり皿洗いや年末の大掃除等に取り組んだり、指先を使った活動を多く取り入れてみましょう。また、編み物や羊毛フェルト等の手芸、ペーパークラフトやプラモデル等の工作にチャレンジするのもよいと思います。（冬休みは、自由研究の提出はありません。真の意味での主体性が問われます。せっかくの長期のお休みです。指先を使った作品づくりに挑戦してみてください。）

蛇足になりますが、（時折、学校で配付するよう送られてくる）子供向けの「ものづくりワークショップ」に参加してみるのもおすすめです。指先を使う活動という意味ではもちろんのこと、新しいことに挑戦することで興味関心が広がり、行動力も高まります。やり方を教えてくれる人がいるのも安心ですし、それなりに見栄えのよい作品ができるので達成感も味わえます。八雲町でもいろいろな活動が催されているようですので、休日に親子で参加してみてもはどうでしょう。



### 1月行事予定

1 月 元日 学校閉庁日	22 月 二計測
2 火 学校閉庁日	23 火 移動図書
3 水 学校閉庁日	野中新生保護者説明会・体験入学
8 月 成人の日	25 木 スキー学習②
12 金 午前授業（給食なし） 全校集会	26 金 学校ブックフェスティバル（東野小）
18 木 スキー学習①	クラブ⑧(スポーツ教室)
19 金 児童会⑩	31 水 5時間授業

## 「あそばないひとのための おもちゃの大まつり」(1・2・3年生)

8日(金)の参観日では、2・3年生が1年生と保護者を招いて「手づくりおもちゃ祭り」を開催しました。「あそばないひとのための おもちゃの大まつり」は、みんなで話し合っただけで決めた題名です。(どんな話し合いがされたのか、興味をそそる題名になっています。笑)

2年生は、牛乳パックや厚紙、段ボール等で制作。メイさんは「ばっちゃんまといれ」、花楓さんは「お魚つり」を作りました。授業では、事前に完成したおもちゃを試して、互いにアドバイスをし合い、「得点の入れ物の場所を変えた方がいいのでは?」「説明の時に、もっとゆっくり話した方がいいのでは?」「時間は30秒くらいがいいのでは?」等、たくさんの意見が出ました。意見をもとにおもちゃを改良したり遊び方を変更したりし、さらに説明の練習をする等、1年生と保護者に楽しんでもらえるよう一生懸命準備する姿が見られました。

3年生は、ダンボールを使い、優衣奈さんはおはじきを指で弾く「おはじきボーリング」、千弦さんは猫の大好物がフリスビーになっている「猫のフリスビー」を作りました。「どのようなルールにすると楽しめるかな?」「ここに入ったら何点にしようかな?」等と考えて準備し、本番では、一生懸命練習したゲームの説明をスラスラ話し、ゲームを進めることができました。

お祭りに招待された葵子さんは、時間内におもちゃの各コーナーを2・3周して存分に遊び、「とても楽しかった!おもしろかった!」と笑顔で言っていました。また、遊び終わった後には、2・3年生に「ありがとう」と感謝の言葉を伝えることができました。

保護者の方々には、たくさんご協力いただきありがとうございました。いただいた感想に子供たちは大喜びでした。



## スマホ・ケータイ安全教室(5・6年生)

8日(金)に、スマホ・ケータイ安全教室を行いました。参観日に合わせての実施で、子供たちは、お家の人と一緒に、スマホやケータイとの上手な付き合い方を考えました。

授業では、「リスクを見積もる」という観点から、「自分がスマホを持った時、どんなことが起きそうか」について考えました。5・6年生は、「長時間の使用は、リスクが高い」と考え、それを防ぐために「おうちの人に声をかけてもらう」「時間を決めて使う」「布団の中では使わない」などの意見がでました。

現在、自分だけのスマホを持っている子供はいませんが、学校で貸与しているクロームブックでも同様のことが言えます。ICT機器が学習道具として普及しつつある現在。「リスクを考えながら、自制心をもって適切に使う」ということが守られないと、普段の学習にも支障をきたします。

今回、4月にお配りしました「学習用端末の家庭使用ガイドライン」と「(クロームブック)おうちでの約束」を改めて配付いたしました。長期休み前に、お子さんと一緒に約束を確認するとともに、身近にあるICT機器とどう向き合うかについてご家庭で話し合ってみてください。

## いじめ未然防止の取組

本校では、毎年、いじめ防止対策推進法に基づいた「山越小学校いじめ防止基本方針」を見直し、いじめの未然防止に努めています。

令和4年12月に改訂された『生徒指導提要』では、生徒指導には、①発達支持的生徒指導、②課題予防的生徒指導、③困難課題対応的生徒指導の3段階があると記述されています。本校では、子供たちの個性や良さ、可能性が発揮されるよう、日頃の授業や行事等での励ましや声かけを工夫したりピアサポートを取り入れたりする等、①発達支持的生徒指導に重点を置いて取り組むことで、多様性を認め、人権侵害をしない心を育てます。

6月、10月の2度実施したいじめにかかわるアンケートでは、「嫌な思いをしたことがある」「友達が嫌な思いをしているのを見たり、聞いたりしたことがある」という質問に「ある」と答えた児童はいませんでした。

今後も引き続き、子供同士や教職員との信頼関係を強め、安心・安全に過ごせる環境づくりを推進します。お子さんの様子で気になることがございましたら、ご遠慮なくご相談ください。よろしくお願いたします。